

戦略  
3

呼び込み・拓く

新しい人の流れの創出による農村地域の活性化と安全・安心で住みよい農村づくりを進めます。

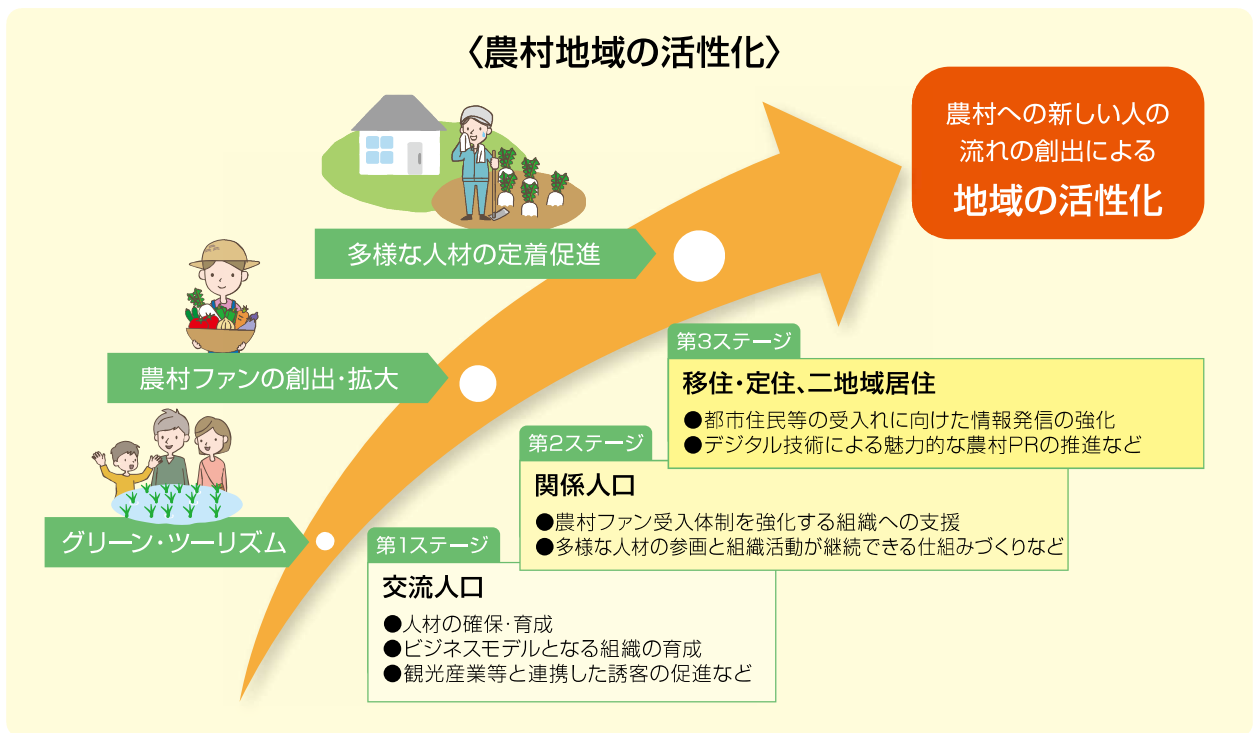
KPI(重要業績評価指標)	現状値	目標値(2025年)
農産物直売所及び農村レストランの販売額	175 億円	180 億円
農村ファン(農村における関係人口)※創出人数	—	645 人
農村地域の雨水流出抑制対策実施流域数	—	3 流域
防災重点農業用ため池における防災対策を講じた施設の割合	—	100%

※交流人口でもなく定住人口でもない農村地域と深い関わりのある都市住民等

(1)新しい人の流れの創出による農村地域の活性化

【展開方向】

農村資源を活用した都市住民等の交流人口の拡大、将来的な移住・定住につながる農村ファンの創出・拡大に向けた取組を推進するとともに、農村地域の将来を担う多様な人材の定着を促進し、農村への新しい人の流れの創出による農村地域の活性化を図ります。



## 【主な取組内容】

### ① 地域経済の活性化につながるグリーン・ツーリズムの推進

- ◆ 農村地域の将来を担う人材の育成とグリーン・ツーリズムに関心を持つ若手人材の確保・育成の取組の推進
- ◆ グリーン・ツーリズムに関係する地域組織等の広域ネットワーク化による新たなビジネスモデルの構築の促進
- ◆ デジタルコンテンツ等を活用した情報発信の強化及び観光産業等と連携した農村地域への誘客の促進

### 栃木を進めるグリーン・ツーリズム

<h4>人づくり</h4> <p>人材の確保育成</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 農村地域の将来を担う人材の育成</li><li>● グリーン・ツーリズムに関心を持つ若手人材の獲得</li></ul>	<h4>組織づくり</h4> <p>ビジネスとして活動できる組織の育成</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 地域組織等の広域ネットワーク化</li><li>● 新たなビジネスモデルの構築</li></ul>	<h4>情報発信</h4> <p>農村の魅力の発信</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● デジタルコンテンツ等を活用した情報発信</li><li>● 観光産業等と連携した農村地域への誘客の促進</li></ul>
 <p>農村の将来を担う高校生等を対象とした実践講座</p>	 <p>地元組織の広域ネットワーク化に向けた研修会</p>	 <p>デジタルコンテンツを活用した農村の魅力伝える動画広告</p>

### ② 将来的な移住・定住につながる農村ファンの創出・拡大

- ◆ 農村地域と継続的に関わる農村ファンの創出・拡大に向け、多様な地域資源を活用し受入体制の強化に取り組む地域組織への支援
- ◆ 中山間地域が抱える課題の解決に向けた地域活動の活性化と地域外から多様な人材が参画できる仕組みの構築
- ◆ 将来的な来訪を見据え、農村地域を訪れなくとも継続的に関わることのできるリモート関係人口の創出・拡大に向けた取組の推進

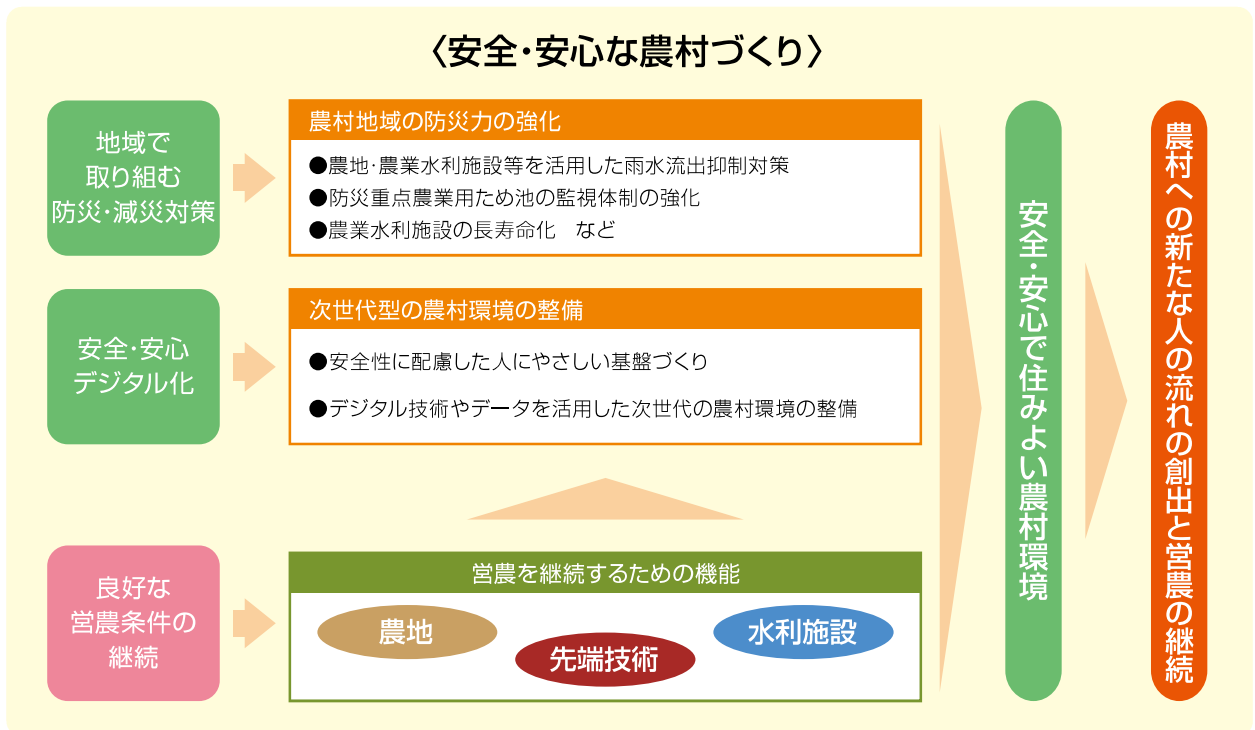
③ 農村地域の将来を担う多様な人材の定住促進

- ◆ 市町等との連携による情報発信など、農村地域で活躍する都市住民等の受入れ、定住促進の取組強化
- ◆ 遠隔地からでも農村地域にアクセスできるデジタル技術などを最大限に活用した魅力的な農村PRの推進

(2) 安全・安心な栃木の農村づくり

【展開方向】

良好な営農条件を備えた農地や農業水利施設の機能を将来にわたって発揮していくため、農村地域の防災・減災力の強化を図るとともに、安全性に配慮した人にやさしい基盤の整備やデジタル技術の導入を推進し、住みよい農村環境づくりを進めます。

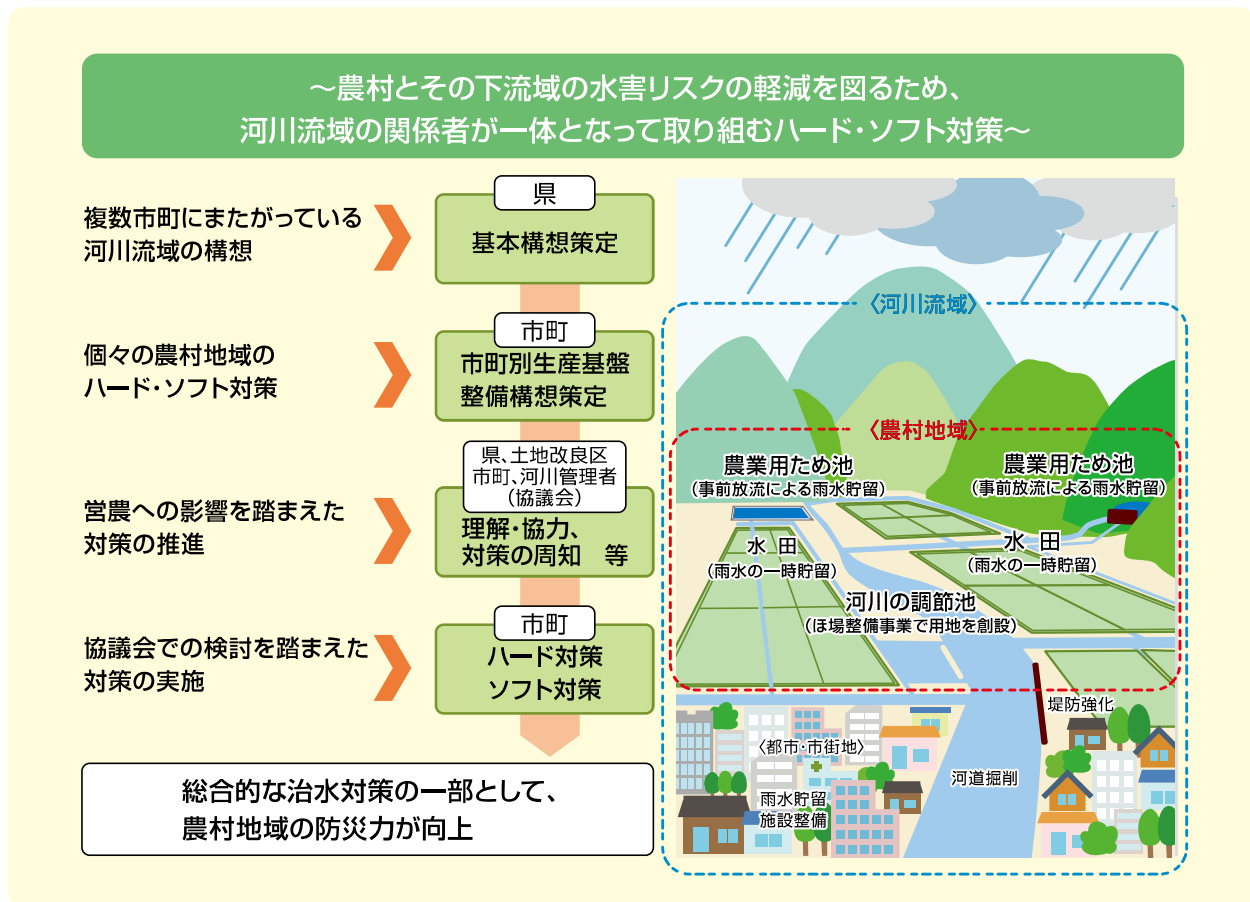


【主な取組内容】

① 農村地域の防災力の強化

- ◆ 河川管理者、市町、土地改良区等との連携による農地・農業水利施設等を活用した雨水流出抑制対策の推進
- ◆ 防災重点農業用ため池の適切な管理・保全に向けた監視体制の強化並びに地震・豪雨耐性調査及び施設機能の適切な維持・補強に向けた対策の推進
- ◆ 農業水利施設の機能を将来にわたり安定的に発揮させるための計画的な長寿命化対策の推進並びに地域の実態や目指す農業の将来像を踏まえた施設の再編整備及び省力化技術導入による効率的な維持管理の促進

## 農村地域における雨水流出抑制対策の推進



## ② 次世代型の農村環境の整備

- ◆ 生産性の向上に加え、法面の緩勾配化や水路の暗渠化<sup>きよ</sup>など農業者の安全性にも配慮した、省力で使いやすく人にやさしい生産基盤づくりの推進
- ◆ 農業・農村インフラの管理の省力化・高度化や、スマート農業技術の実装等に加え、ワーケーションに対応した農泊など新しい生活様式にも活用できる情報通信環境の整備の推進
- ◆ デジタル技術とそのデータを活用した農業の発展及び農村生活の変革(農業・農村デジタルトランスフォーメーション(DX))の推進による定住条件の強化



安全性などに配慮した次世代型の農村環境づくり

安全安心で誰もが参加できる農業

人にやさしい基盤づくり



用排水路の暗渠化による農道の拡幅



緩勾配の法面での安全な除草作業

農村に快適に暮らし続けることのできる社会の実現(イメージ)

農業・農村の一体的なデジタル化



農業・農村DXの展開(データの利活用)

農業の発展(農業DX)

センシングデータを活用した生産管理システムを構築し、新規就農者を支援



消費者ニーズに基づいた作物選択等による販売戦略の見直し



農村の発展(農村DX)

直売所に出荷した農業者の空き荷台を活用した配送の効率化



ため池の水位状況から浸水想定範囲の住民に決壊注意情報を通報



快適に暮らせる新しい農村環境の実現

～誇れる“ふるさと”を次の世代へ～

## 重点戦略KPI(重要業績評価指標)一覧

項目	単位	現状値	目標値(2025年)
<b>重点戦略1 明日へつなぐ</b>			
産地が育成する就農者数※1	人	3	150
人・農地プランの中心経営体に位置付けられる新たなモデル経営体数※2	経営体	—	45
女性による新事業創出数	件	—	15
農福連携の取組数※3	件	165	200
<b>重点戦略2 強みを伸ばす</b>			
販売額1億円以上の先進的園芸経営体数	経営体	25	38
50ha規模以上の園芸メガ産地数	産地	2	7
30ha規模以上の土地利用型農業中核経営体数	経営体	194	450
一貫経営・乳肉複合経営体数	経営体	225	310
牛飼養頭数200頭以上の経営体数	経営体	71	90
PR可能なユニークセリングポイント※4を発掘した品目の数	品目	—	5
環境変化や時代のニーズに対応し新たに開発した品種・技術数		—	44
<b>重点戦略3 呼び込み・拓く</b>			
農産物直売所及び農村レストランの販売額	億円	175	180
農村ファン(農村における関係人口)※5創出人数	人	—	645
農村地域の雨水流出抑制対策実施流域数	流域	—	3
防災重点農業用ため池における防災対策を講じた施設の割合	%	—	100

※1 産地が設置する研修機関等での研修終了後に就農した農業者数

※2 合併や連携する集落営農組織、農業に参入する企業及び自治体等が出資した広域農業法人等

※3 「福祉施設等への農作業委託」、「障害者雇用」及び「自ら障害者就労支援施設を設立」の取組ごとの農業経営体数並びに農業生産を行う障害者就労支援事業所数の合計

※4 他産地の農産物と比較した際の本県産特有の強み

※5 交流人口でもなく定住人口でもない農村地域と深い関わりのある都市住民等